

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年6月18日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年6月18日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機原子炉建屋の放射性物質の月間漏洩率の誤記について】</p> <p>主管グループが他グループより、2020年度の1号機原子炉建屋機器ハッチからの放射性物質漏洩率の問い合わせを受け、確認したところ、11月分に誤りがあることを確認。</p> <p>原因は、データ入力の誤りによるものと推定。</p> <p>当該漏洩率は、当社ホームページに公表している「1～4号機原子炉建屋からの追加的放出量の評価結果」、「環境モニタリング評価部会 2020年度第3四半期報」に記載しているため、公表資料の修正が必要であることも判明。</p> <p>また、公表資料以外にも対外的な報告書の修正が必要となることも判明。</p> <p>速やかに公表資料の修正を行うとともに、対外的な報告書も修正する。</p> <p>月間漏洩率の誤りによる、敷地境界における被ばく線量に変更はないため、構外への影響はない。</p> <p>今後、原因調査、再発防止対策を検討。</p>	G II	6月16日
2	<p>【大型機器除染設備ロボット(B)の不具合について】</p> <p>協力企業作業員が、大型機器除染設備ロボット(B)のアーム部保護用ジャケットを交換し、自動除染プログラムにて作業を開始したが、ロボット(B)が自動除染プログラム通りにステップ移行しないことを確認。他のロボット5台については異常なし。</p> <p>類似の自動除染プログラムにて除染を実施したところロボット(B)及び他の5台について除染が可能なことを確認できたため、当初使用した自動除染プログラムの不具合と推定。</p> <p>今後、プログラムの修正及びロボット(B)以外の5台についてもプログラムに不具合が生じていないか、健全性確認を実施予定。</p>	G III	6月15日
3	<p>【廃材片付け作業における負傷者の発生について】</p> <p>2018年9月26日、協力企業作業員が物揚場において廃材の片付け作業中、廃材を廃棄用金属製キャスク内に収納の際、誤って廃材とキャスクの間に左手薬指及び小指を挟み負傷。</p> <p>当日、入退域管理棟救急医療室で医師の診断を受けず、退社後に病院を受診。左手薬指及び小指の切創、合計13針の縫合の治療を受けた。</p> <p>本災害については、匿名文書により発覚。当社から労働基準監督署、元請企業へ連絡した。</p> <p>今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	6月15日